

戦後復活70回

仙台七夕まつり

盛大に開催!

今年も、8月6日～8日の3日間開催された仙台七夕まつり。
3日間合計で約218万人の方に、仙台が誇る竹と和紙の祭典を
お楽しみいただきました。



今年で5回目となる小中学生による七夕飾り。「故郷の未来のために～星に願いを 緑の故郷(せんだい)～」をテーマに、仙台市内の小中学生が約8万7千羽の折鶴に想いを込めた。

道行く人が豪華絢爛な飾りを目で見えて触って楽しむクリスマスロード商店街振興組合。
〔第1地区B(中央通り地区)金賞〕



鉢植えのかわいらしい七夕飾りが並ぶ根白石商店会。
〔第5地区(北地区) 金賞〕



吹き抜ける風に笹飾りが心地よく揺れる原町東部商工会。
〔第3地区(仙台駅前周辺・宮城野区地区) 金賞〕



飾りの中で雀踊りがにぎわいを演出する仙台朝市商店街振興組合。〔第2地区(青葉区周辺地区) 金賞〕



毎年おなじみの仕掛物飾り。ミュージカル仕立ての内容に多くの人が足を止めた(仙台フォーラス前)。



街全体で飾りに統一感を持たせた連坊商興会。
〔第4地区(若林区・太白区地区) 金賞〕



今年は「戦後復活70回記念札」を市内全体の飾りに統一して掲出。



「伝統の継承と、再構築」をテーマにした(株)鐘崎の七夕飾り。

仙台の昔を伝える紙芝居(サンモール商店街)。





定禅寺通グリーンベルトには「天の川回廊」と「幸せのピンクツリー」が登場。夜遅くまでたくさんの方が記念撮影。

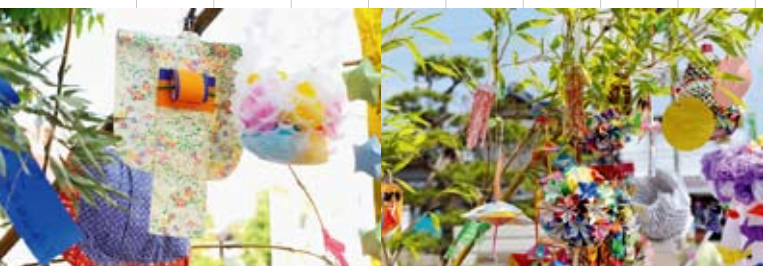


昼間は青空、夜は星の輝く夜空の下で風になびく七夕飾りが美しい一番町四丁目商店街振興組合。(第1地区A(東一番丁通り地区)金賞)



8月5日、仙台七夕まつり前夜を16,000発の花火が彩った「仙台七夕花火祭」。

伊達政宗公の霊廟を幻想的に浮かび上がらせる「瑞鳳殿七夕ナイト」。





仙台市民広場周辺では、「仙台七夕おまつり広場」をはじめとした楽しい催しが盛りだくさん！「ORIHIME短冊」コーナーでは子どもから大人まで大切な人への想いを絵馬にしたためのほか、ミニ七夕飾りの作成体験や、戦後70年の七夕まつりを振り返るブースも。つなぎ横丁の盆踊りは連日たくさんの方が踊りの輪をつくった。



今年も学生ボランティアが活躍。各観光案内所や仙台駅前の歓迎ボードなどで観光客の七夕見物をサポート。



今年から始まった新たな取り組み「仙台七夕おもてなし隊」。延べ約500人のボランティアが道案内や記念写真撮影で大活躍！

昨年復活した「周辺部七夕バスツアー」は、計3コースを用意。参加者は商店街ごとに趣向をこらした七夕飾りを楽しんだ。

